

令和6年度

学校評価アンケート結果



阿南市立阿南第一中学校

令和6年度調査

1 回答者

令和6年12月12日（木）～20日（金）

教職員27名 生徒270名 保護者167名

2 回答方法

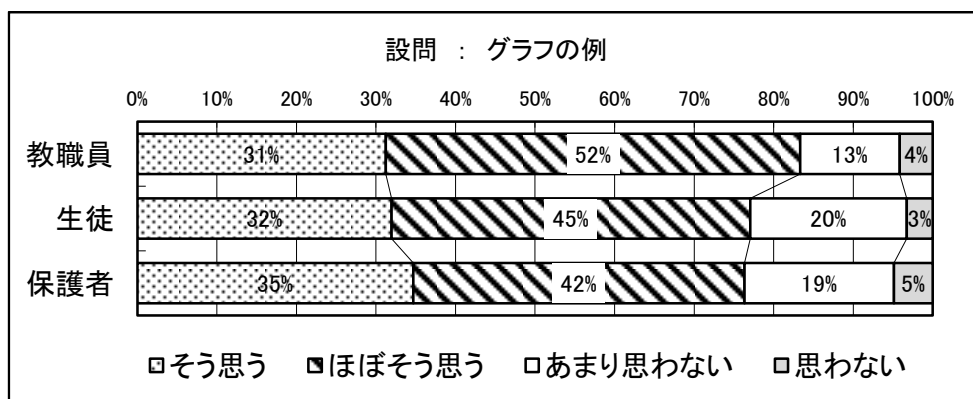
各質問事項に対して、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」「3 あまり思わない」「4 思わない」の4段階で回答していただき、「1 そう思う」「2 ほぼそう思う」を肯定的意見、「3 あまり思わない」「4 思わない」を否定的意見として、調査結果を分析しました。

3 結果の活用

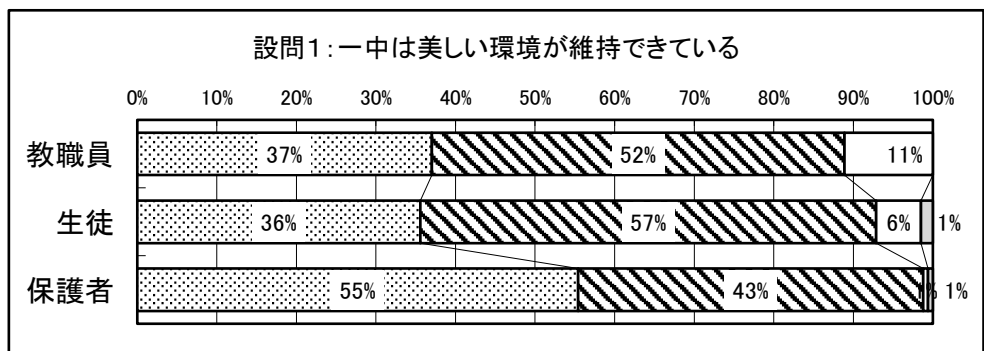
調査結果は2月にとりまとめ、全教職員に配布検討し、課題と改善点を明らかにした上で、次年度の学校運営や教育方針、さらに重点目標の参考にしていきます。また、保護者や学校運営協議会委員の方々にも調査結果をお示ししてご助言をいただき、改善すべき点は積極的に改善するよう努めていきます。

また、ホームページに掲載して、広く周知を図ります。

グラフの見方（例） グラフ内の数字は全体に占める割合（パーセント）です。

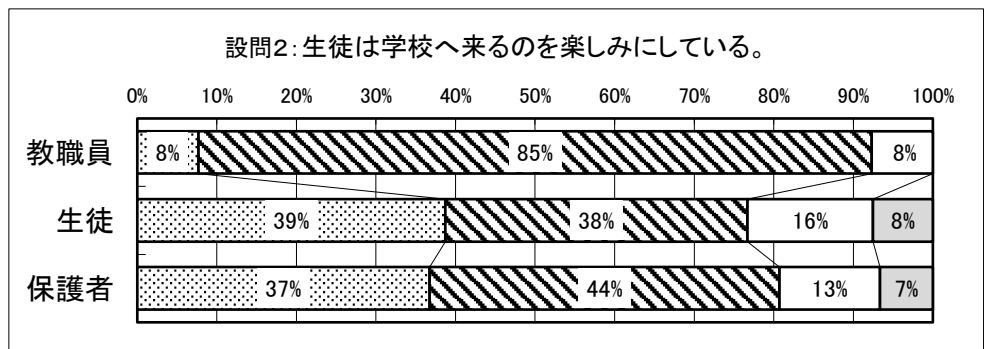


1 学校の環境に関すること

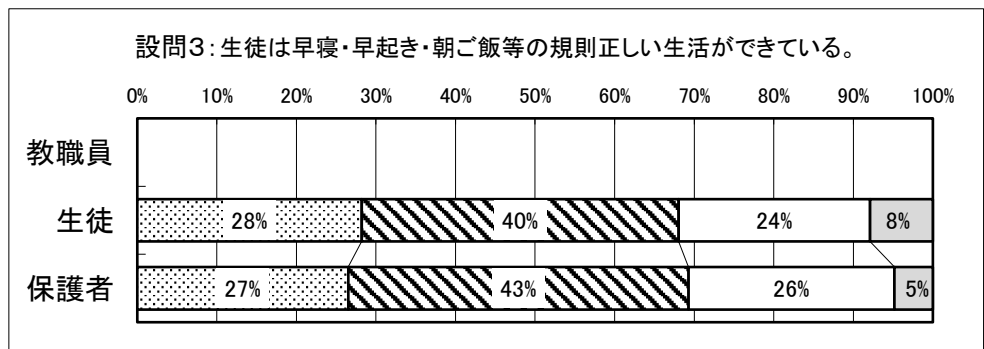


【設問1】では、生徒・保護者とも90%以上で肯定的な回答が得られ、高い水準での評価となっています。これからも美しい環境を維持できるよう努めて参ります。

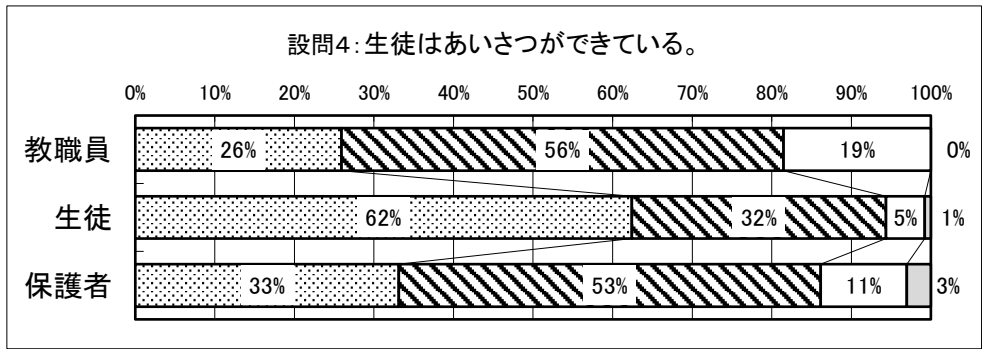
2 生徒の学校生活に関すること



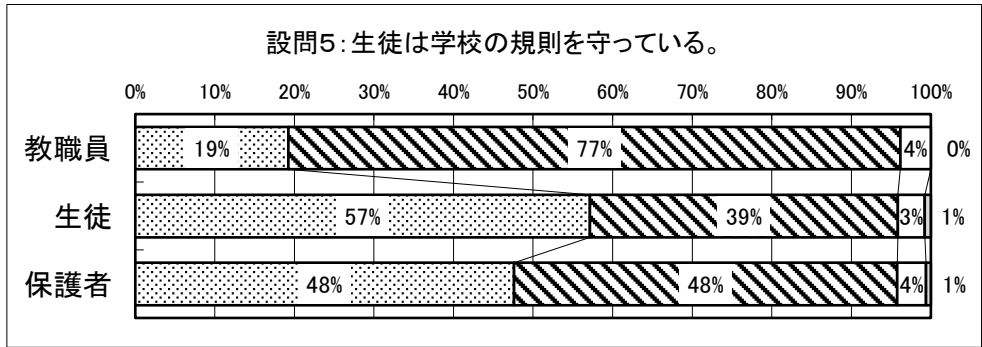
【設問2】では、肯定的な回答をした生徒は77%で、昨年度と同水準、保護者は81%で3%の増加となりました。教職員はこの数字をしっかりと受け止め、すべての生徒が「学校へ来るのが楽しみである」と回答できるように、教育活動をすすめます。



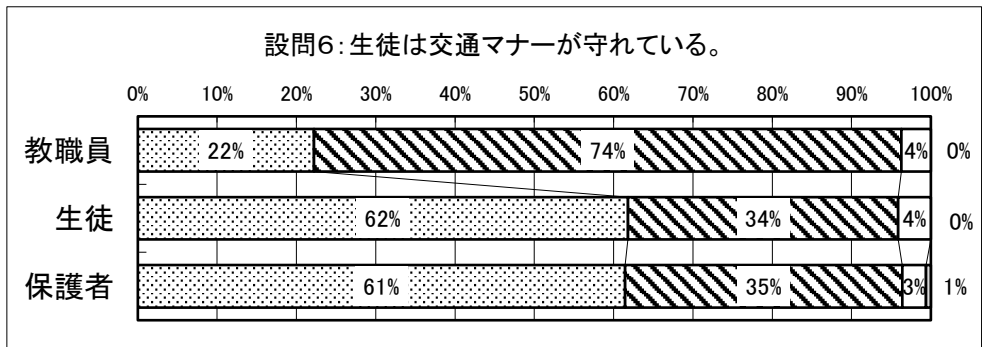
【設問3】では、規則正しい生活ができていると回答した生徒が68%で、昨年度より2%高い結果になりました。今後はよりいっそう生徒の健康と体力の向上、規則正しい生活習慣の確立をめざし、家庭と協力しながら取り組んでいきます。



【設問4】では、昨年度と同じように、生徒は高い水準で肯定的な回答をしています。しかし、教職員が昨年度より4%低く、保護者も3%低い結果となっており、あいさつへの意識のズレを感じます。特に教職員は2年前に比べて14%も低くなっています。今後はよりいっそう「あいさつ日本一」を目標に、社会生活の基本として、積極的なあいさつの励行を進めていきます。

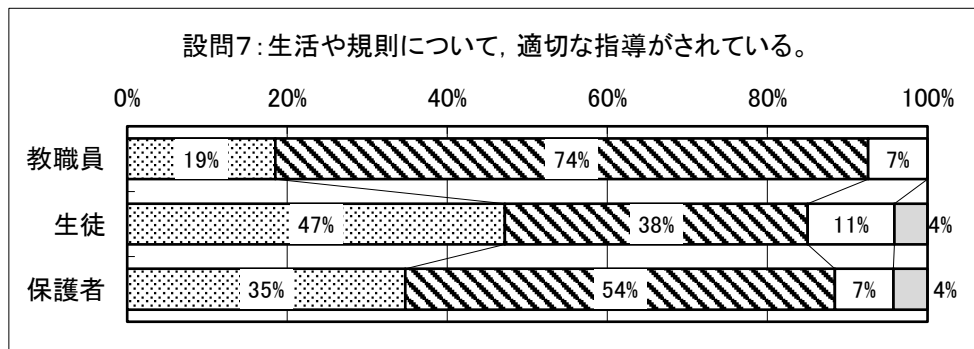


【設問5】では、「規則が守られている」と回答した生徒、保護者、教職員は、ともに100%に近く、昨年同様に高い水準を保っています。学校生活全般を見ても、ほとんどの生徒が規則を守り、落ち着いた生活を送っています。学校だけでなく、地域社会の一員としての自覚を持ち、高い規範意識のもと規律正しく生活できるよう、今後も集団行動をはじめ学級活動など、日々の学習活動で指導を継続していきます。

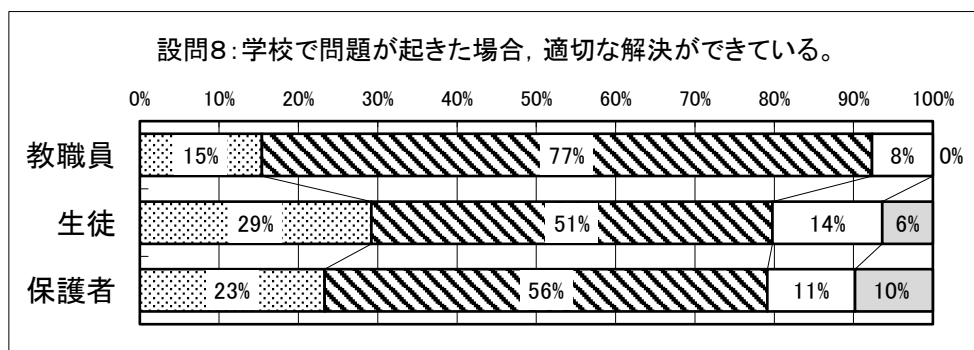


【設問6】本校の周辺道路では交通量が多く、通学路付近での工事もあり、危険と隣り合わせで通学する状況が続いています。日々危機感と緊張感をもって、交通マナーやルールを守った登下校をする必要があります。この状況に満足することなく、生徒の命を守るために日々呼びかけや啓発をすすめ、安全第一の教育を行っていきます。

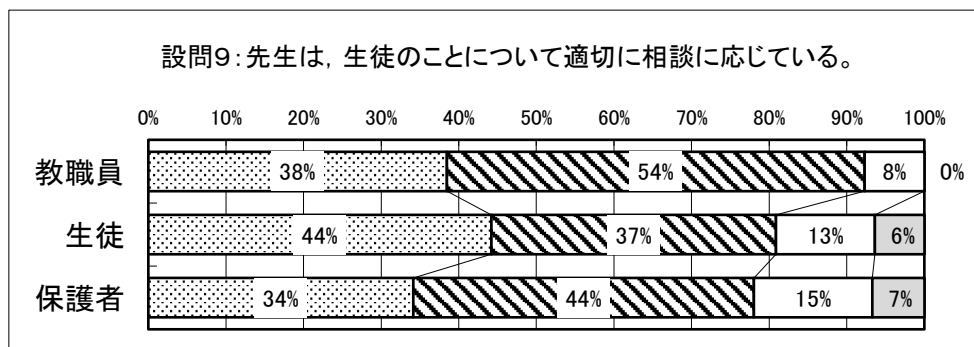
3 生徒指導に関すること



【設問7】では、昨年度と同様に教職員・生徒・保護者ともに肯定的な回答が多く、特に教職員は昨年度に比べて8%高くなっています。しかしその分、生徒との意識の差が感じられる結果となりました。今年度から、誰もが過ごしやすく、学びやすい学校を目指して、生徒会と教職員が意見を出し合い、学校生活の規則やルールについての見直しを始めています。今後も反省と改善を継続しながら教育活動をすすめていきます。

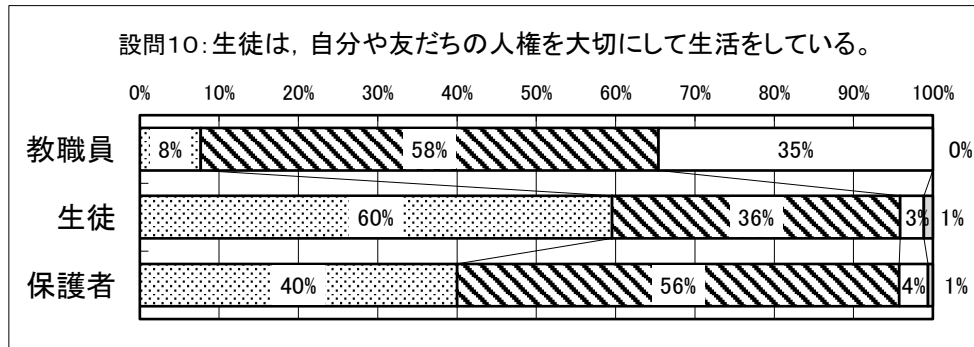


【設問8】では、生徒・保護者ともに、肯定的な回答が昨年度より2%増えていますが、満足できる割合とはいえませんでした。今後はより一層生徒との信頼関係をしっかりと築き、家庭との連携を図りながら、粘り強く適切な問題解決に取り組んでいきます。また、問題を未然に防ぐためにも、しっかりと生徒理解にも努めます。

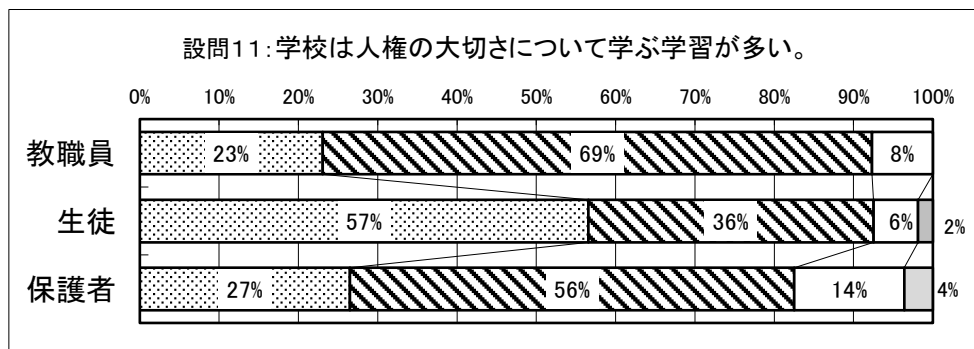


【設問9】の相談活動では、肯定的な意見が生徒では81%、保護者では79%となりました。しかし、教職員の回答に対して意識のずれが見られます。このことをしっかりと受け止め、教職員は今まで以上に生徒と向き合う機会と時間の確保に努め、より丁寧に相談活動ができるようにしていきます。また、継続して複数教員が相談に対応するよう取り組みます。

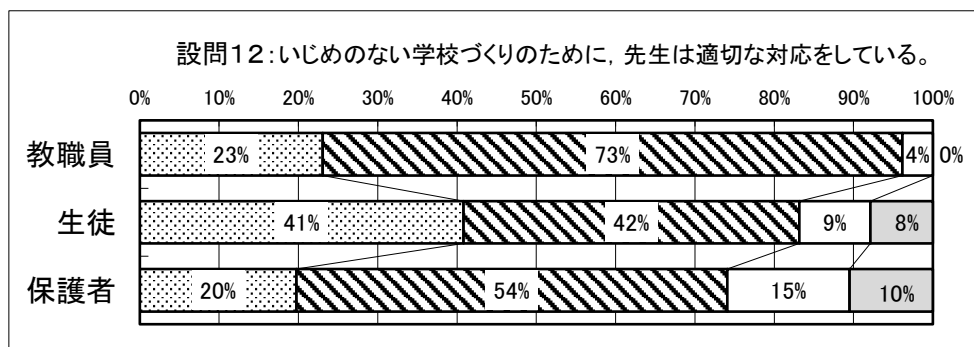
4 人権教育に関すること



【設問10】で肯定的にとらえたのは、教職員66%、生徒・保護者96%です。生徒・保護者とも昨年度と同程度の割合でしたが、生徒の言動に課題を感じている教職員が昨年度より増えています。学校が安心できる場所であるために、細かいことも見逃さないように教職員一丸となって努力していきます。

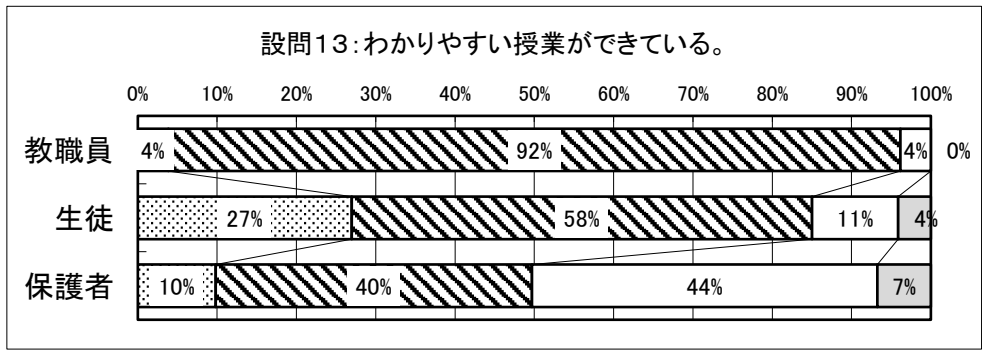


【設問11】では肯定的な回答が教職員92%、生徒92%、保護者83%でした。教職員・生徒・保護者とも昨年度に引き続き高い水準を維持しています。本校の目標でもある人権教育の充実をめざし、人権学習をすべての教育活動の基盤に据えた教育を強く推進していきます。また、「PTCでつくる人権のつどい」や学年だよりなどを通して、保護者とともに考える機会を設け、啓発活動にも取り組んでいきます。

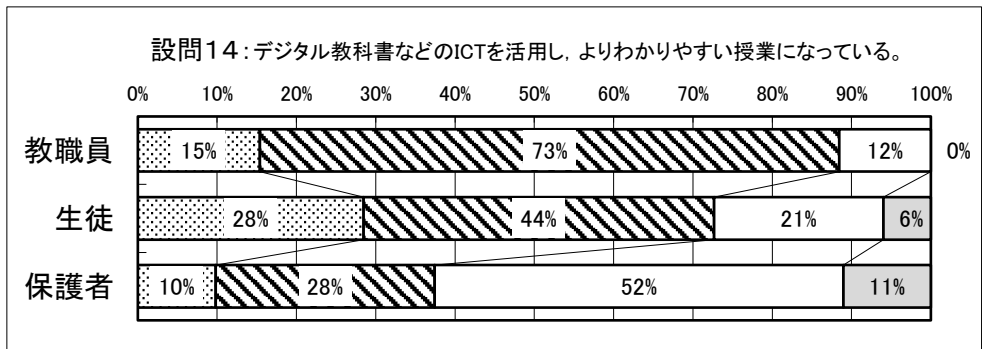


【設問12】いじめはいつでもどの学校でも起こりうるという認識のもと、定期アンケートや相談活動などを通して全教職員で取り組む重要課題です。今回、生徒の17%、保護者の25%が否定的な回答になっています。このことを重く受け止め、生徒が安心して充実した学校生活が送れるように、保護者・地域・関係機関と連携し、いじめのない環境作りに努めるとともに、早期発見・早期解決するように適切な対応を進めていきます。

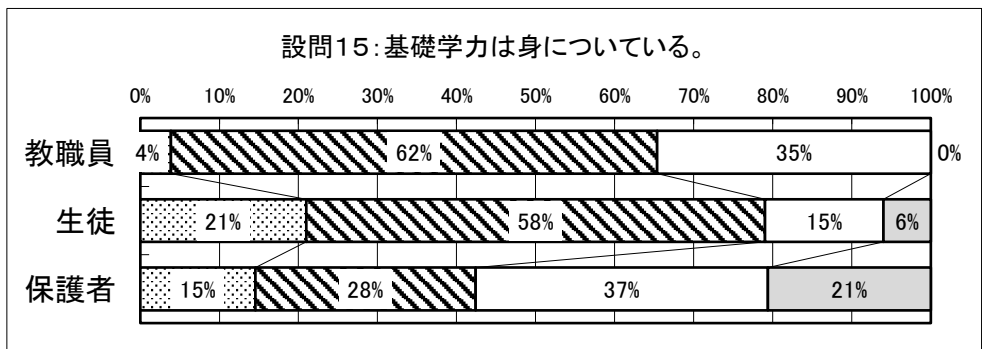
5 学習指導に関すること



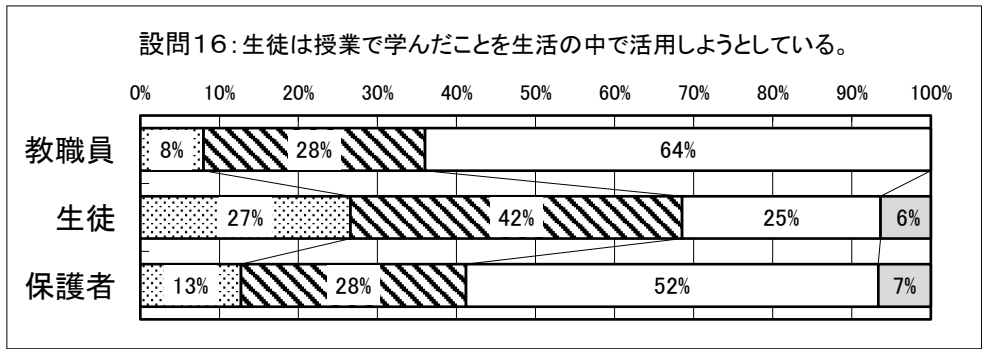
【設問13】本校では学びのユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、教室環境の改善やヤマ場のある授業作りなどの授業改善に取り組んでいます。生徒の肯定的な回答は85%となり、高い水準を維持していますが、教職員自身も授業改善の必要性を感じており、今後もさらにわかりやすい授業づくりに向けて研修を続けていきます。



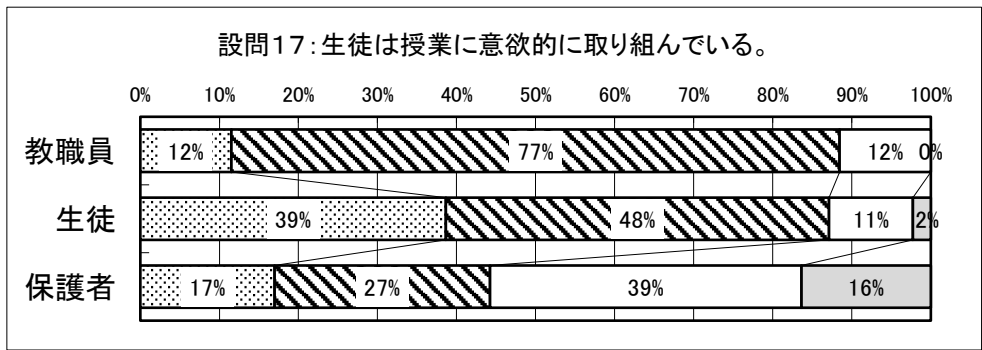
【設問14】タブレット端末等のICTを活用し、デジタル教科書や学習用アプリを用いて、わかりやすい授業の実践に努めていますが、生徒の肯定的な回答は72%で、昨年度より3%低くなりました。今後も研修を重ね、ICTをより効果的に活用してこれからの新しい社会を生きていく生徒たちにとって必要な力を身につけて参ります。



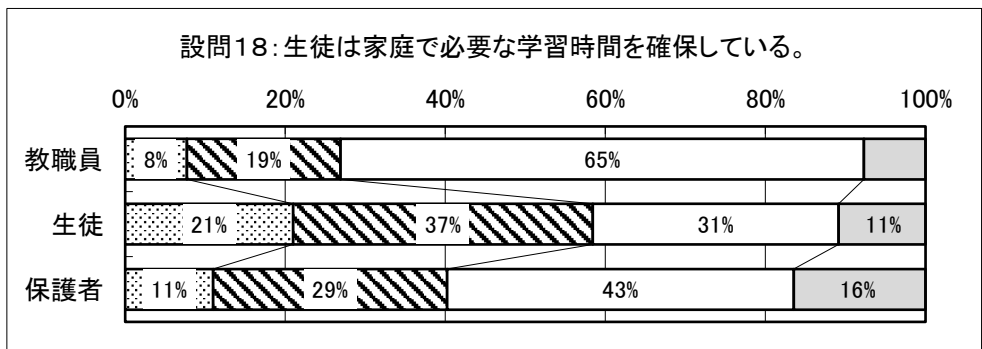
【設問15】昨年度も厳しい数字でしたが、今年度は肯定的な回答が、教職員は10%減少、生徒は4%増加、保護者は5%減少となり、さらに厳しい結果となりました。この設問では特に、教職員と生徒、保護者の三者間に大きな意識の差が見られます。授業に集中して取り組むことや家庭での学習時間の確保など、基本的な生活習慣の確立も含めて、もう一度見直していきたいと思います。授業と家庭学習は学力向上・基礎学力の定着の両輪です。今後もきめ細かな支援・指導を行っていきます。



【設問16】以前から全国学力・学習状況調査において、「学んだことを活用する力」に課題が見られています。今回のアンケートからも、生徒31%、保護者59%が活用できていないという結果が見られました。授業において、実生活と結びついた内容を取り上げたり、既習の内容を活用する場面を多く設定したりして、各教科や総合的な学習の時間において「学んだことを活用する力」の育成に努めていきます。

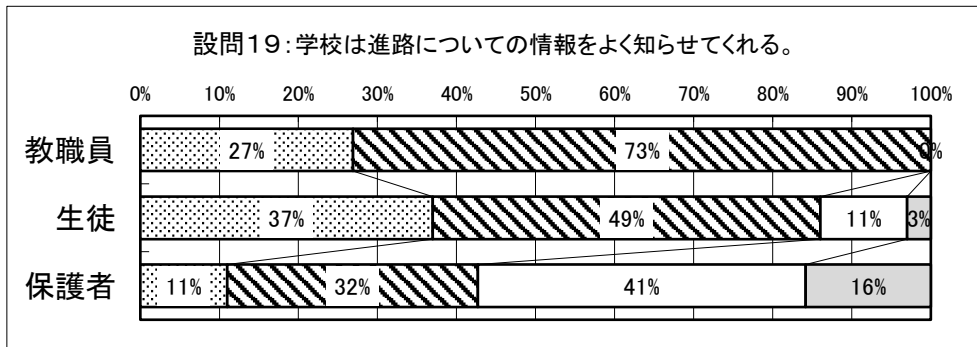


【設問17】「授業に意欲的に取り組んでいる」と回答した割合が、昨年度に比べて教職員4%、生徒2%増加しています。生徒が意欲的に取り組めるような授業改善と、今学んでいることが将来へとつながっていく意識を持たせるキャリア教育を実践し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。また、忘れ物をしないことや3分前着席などの授業に向けた基本的な態度についても継続的に指導を行っていきます。

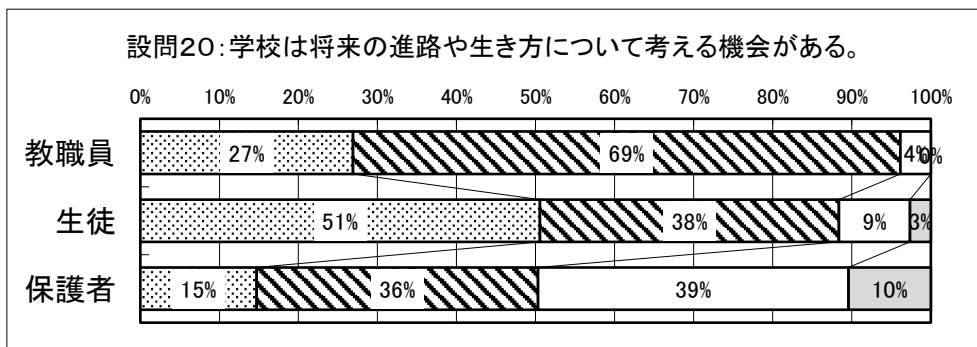


【設問18】グラフを見ると大変厳しい結果であることがわかります。生徒と教職員・保護者との意識に差が見られ、まだまだ家庭学習の時間が確保されていないことがわかります。学力の向上は本校の課題の一つです。少しずつ学習時間を確保できつつある生徒もいますが、家庭学習の習慣化を図り、学力向上をめざしていきます。

6 進路指導に関すること

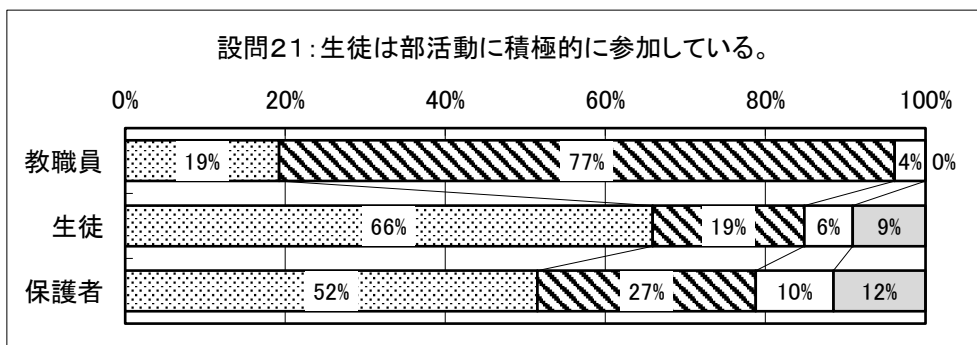


【設問19】では、肯定的な回答が昨年度に比べて、教職員20%、生徒11%、保護者5%増加しています。昨年度の反省から、学級活動等の授業や掲示物で、進路についての情報を十分知らせるようにした結果であると考えられます。今後はさらに、保護者の方々に向けても、学校だよりや学年通信などを活用して情報を提供していくよう、一層の努力をしていきます。

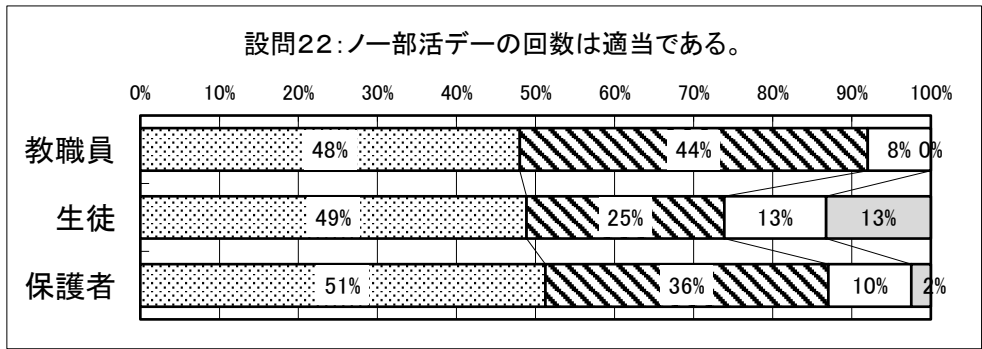


【設問20】【設問19】と同じく、教職員1%、生徒11%、保護者5%増加しています。今後も、学級活動や総合的な学習の時間の充実、講演会、外部講師の活用などにより充実した教育活動を継続し、3年間を見通したキャリア教育を推進するとともに、三者面談などを利用した相談活動も充実していきます。

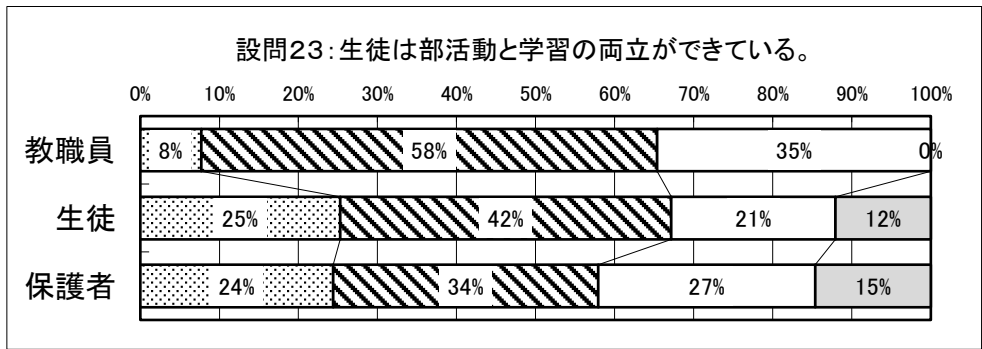
7 部活動に関すること



【設問21】では、教職員96%、生徒85%、保護者79%が積極的に取り組んでいると回答しています。生徒のほとんどが積極的に部活動に取り組んでいることがうかがえます。一方で15%の生徒が否定的な回答になっています。今後も生徒のよりよい成長のため、部活動という教育の場を有効に活用していきたいと考えています。

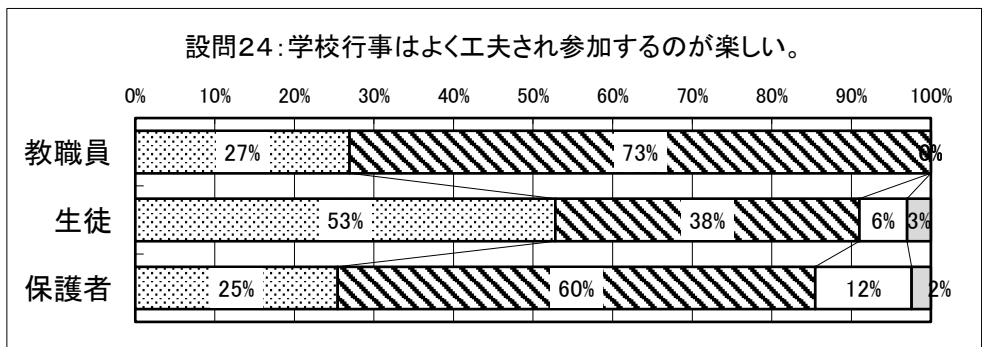


【設問22】では、生徒の74%、保護者の87%が適当な回数であると評価しています。今年度から、毎週木曜日を「ノー部活デー・家庭学習の日」とし、充実した部活動となるように休息を取るとともに、家庭で学習に取り組むように指導しています。今後も、木曜日の放課後の過ごし方について、計画的に学習できるように支援していきます。

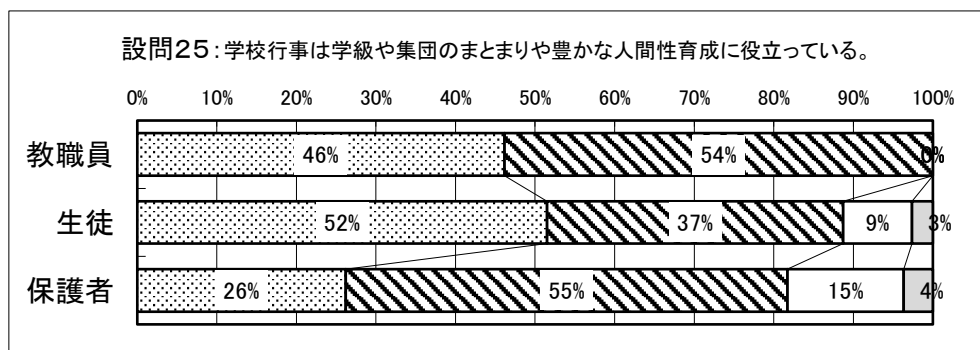


【設問23】は、学習に関する設問と関連しますが、教職員66%、生徒67%、保護者58%が肯定的な回答で、多くの生徒がうまく両立できていないことがうかがえます。毎日続けて学習する習慣の確立や、部活動が休みの日の有意義な過ごし方の指導など、学習と部活動のバランスを考えた教育活動を実践していきます。

8 学校行事に関すること

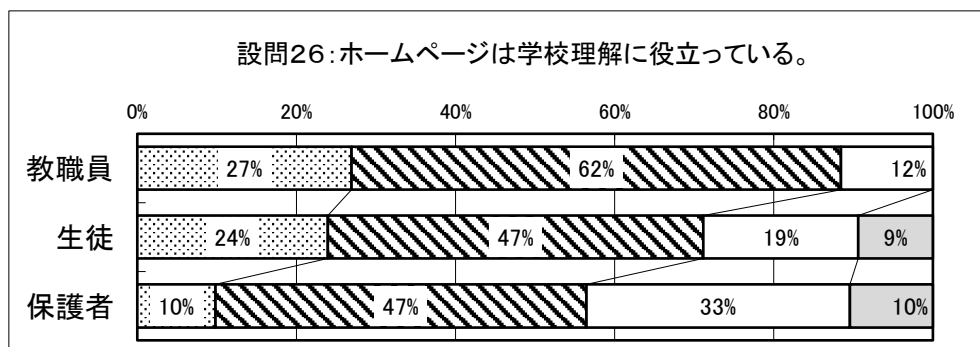


【設問24】では、肯定的な回答が教職員・生徒ともに90%を越え、保護者は85%で昨年度より4%増加しています。今後も地域の中心としての学校をめざし、学校の求心力が高められるよう、職員会、PTA役員会等で意見交換をしながら見直しをするなど、工夫を重ね、より教育効果の高い行事を実施していきます。

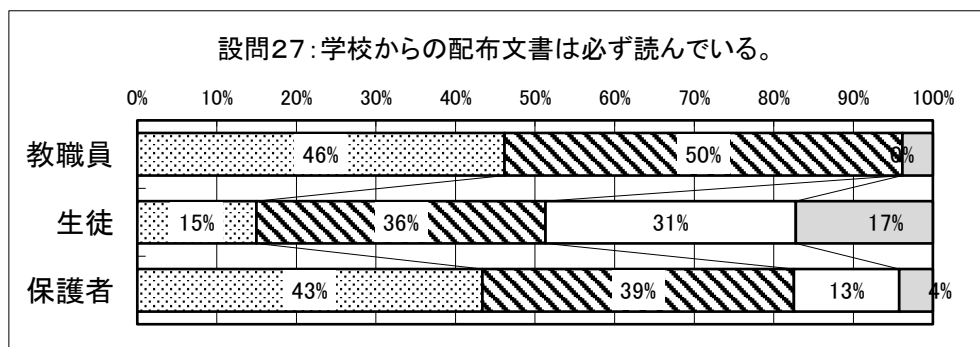


【設問25】では、教職員 100%、生徒 89%、保護者 81%が肯定的に回答しており、全体的に昨年度と同様に高い水準を維持しています。これからも、学校行事の目的を生徒と共有し、みんなが楽しめる活動となるように計画することを通して、社会性の育成に取り組んでいきます。そして、行事を通して協力することの大切さや思いやりの心を育てていきます。

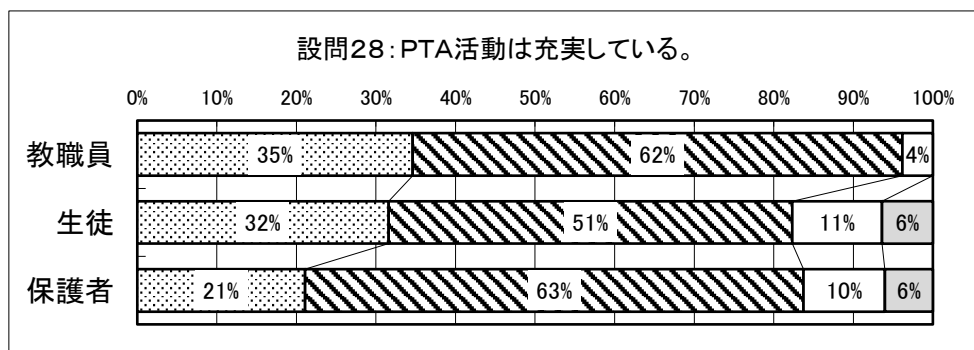
9 開かれた学校づくりに関すること



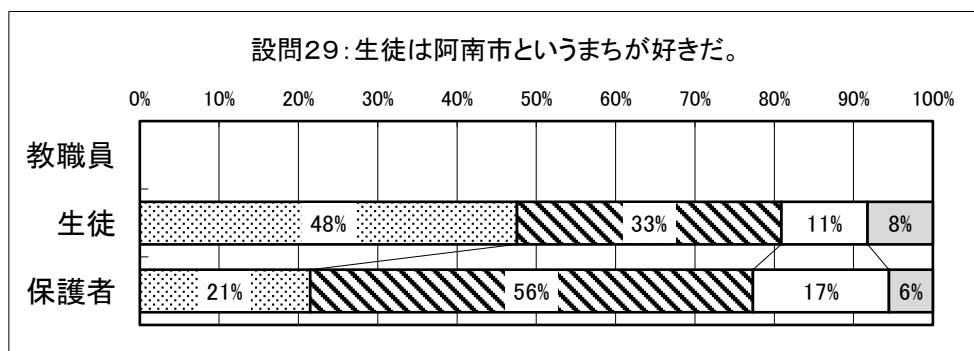
【設問26】では、教職員 89%、生徒 71%、保護者 57%が役立っていると回答しています。昨年と比べ、教職員・保護者は肯定的な回答の割合はわずかですが増加しています。今後もホームページを見やすく整理し、正確で新しい情報を積極的に提供することを心がけていきます。



【設問27】では、肯定的な回答が生徒 51%で、昨年度よりわずかに高い数値となっています。保護者の回答は 82%となっており、多くの方が目を通してきています。生徒には配布のみに終わらず、短学活で一緒に読むなどして意識を高めていきます。また、保護者に確実に届くように生徒にも指導してきます。さらに、配布物そのものが読みやすく見やすくなるよう工夫をしていきます。



【設問28】授業参観には多数の保護者の皆様に来校していただきました。また、各専門部での活動や地域役員を中心とした資源回収など、多くの場面でPTAのみなさんにご協力をいただきました。結果を見ても、教職員97%、保護者84%が肯定的に捉えています。今後も、PTA役員を中心に計画をすすめ、学校、保護者、地域がより連携を深め、充実した活動にしていきます。



【設問29】では、生徒の81%が阿南市というまちが好きであると回答しています。学校でも地域をいかした行事を実施したり、自分たちの暮らすまちの良さを知る機会をできるだけ多くつくったりして、市の魅力を伝えていきたいと思えます。

終わりに

教職員と生徒、保護者との間で意識のズレがあると思われる項目もありましたが、多くの項目にわたって肯定的な回答が寄せられました。しかしながら「基礎学力の定着」「家庭学習の時間の確保」「ICTの活用」「進路についての情報」など否定的な意見の多いところもあります。これらについては、学びのユニバーサルデザインの考え方をいかした授業づくり・教室環境づくりを中心とした取り組みをさらに深めていき、改善への努力を継続していきます。一人一台タブレットを活用したより効果的な授業のあり方については、今後も研修を積み重ね、これからの社会に生きる生徒たちに必要な知識と技術を身につけられるよう取り組みます。また、「いじめに関すること」「交通安全に関すること」など安心・安全にかかわる問題や「学校が楽しい」などの項目は、肯定的回答の100%をめざして引き続き努力していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。